

大津地裁

「裁判に興味、勉強になった」

児童、裁判官にインタビュー

小学生からインタビューを受ける中野裁判官
(大津市京町3丁目・大津地裁)

若い世代に裁判に親しんでもらおうと、大津地裁は11日、裁判官が小学生のオンラインインタビューに応える企画を開いた。

例年、5月の憲法週間に合わせ、子どもを対象に法廷見学などを行っていたが、コロナ禍で昨年からはオンラインで実施している。

この日参加したのは近江八幡市立武佐小

(同市武佐町)の6年生約30人。学校と地裁をビデオ会議システム「Zoom」でつなぎ、児童が同地裁刑事部の中野彩華裁判官(29)に約30分間質問した。

「裁判がない日は何をしているのか」と問われると、中野裁判官は「判決を書いたり裁判の準備をしたりしている」と応じた。

このほか、裁判所や裁判官に関するクイズや、初の試みとなる「オ

ンライン法廷見学」も実施した。児童らは裁判官席が映し出されると興味深そうに見入っていた。

参加した児童は、「最高裁が東京にしかないことや、裁判が長い時は休憩があることを知らなくて驚いた。もっといろんなことを知りたい」「裁判のことはあまり興味がなかったが、勉強になった」と満足げだった。

(飯島将太)